

令和4年10月26日

第88号

公益財団法人
川崎市シルバー人材センター
川崎市川崎区堤根34-15
ふれあいプラザかわさき1F
TEL 044-222-6886
FAX 044-221-8516

シルバーかわさき

<http://www.kawasaki-sc.or.jp/>

シルバー人材センター 事業普及啓発促進月間

全国のシルバー人材センターでは、毎年10月を「シルバー人材センター事業啓発促進月間」と定め、「全国シルバー人材センター事業協会」を中心として「普及啓発促進キャンペーン」を展開しています。近年は新型コロナウイルス感染症の影響下ではありますが、地域への貢献とセンター事業を広くPRするため、様々な活動を実施してまいります。

○主なPR活動

- ・市内統一美化活動（9月）
 - ・関係施設等へパンフレット設置
 - ・老人福祉施設へPR用ポケットティッシュの設置
 - ・地域広報誌への広告掲載
- 区民祭への参加
- ・幸区民祭（南部事務所）
 - ・宮前区民祭（中部事務所）
- ※あさお区民まつり（北部事務所）につきましましては、本年は参加することができませんでした。



市内統一美化 活動への参加

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から開催が中止されていた「市内統一美化活動」ですが、今年9月に各区で実施され、多くの会員有志の方達が清掃ボランティアとして参加されました。このイベントは地域社会への貢献、シルバー事業の普及啓発を目的として各事務所を中心に毎年参加しております。詳細につきましては、「事務所だより」をご覧ください。



◀南部事務所
(JR川崎駅周辺)



中部事務所
(JR武蔵溝ノ口駅周辺) ▼



◀北部事務所
(小田急線新百合ヶ丘駅周辺)

川崎市へシルバー人材センター 事業の支援に係る要望書を 提出しました。

令和4年9月5日（月）、池田理事長が川崎市役所に赴き、令和4年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の定時総会において可決、承認された「地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望」に関する要望書を伊藤副市長に手渡しました。

併せて、当センターの現状や令和5年10月から施行される適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応等に係る川崎市からの支援と協力を得るための説明を行いました。



(左)池田理事長

(右)伊藤副市長

◇令和4年度 4月～9月分 事故発生状況

No.	種類	区分	発生日	仕事の内容	性別	年齢	事務所	事故の状況
1	傷害①	就業中	4月27日	清掃作業	男	67	南部	駐車場内を清掃中、側溝の中の葉や砂を掃き出すため、側溝の蓋を上げた時、腰が「ガクツ」となった。痛みがあり、湿布薬などで様子を見たが、数日間痛みが引かないため医療機関を受診したところ、圧迫骨折との診断を受けた。
2	傷害②	就業中	5月12日	建物管理	男	75	南部	防火扉の開閉を行い清掃をしていた時、扉のノブに左腕の肘付近を激しく打ちつけてしまった。その後、通常通り仕事を終えて帰宅。帰宅後、腕の痛みと内出血が左腕全体に広がったので、医療機関でレントゲン検査と診察を受診し、打撲と診断された。
3	傷害③	就業中	5月19日	植木剪定作業	男	62	中部	植木剪定作業中に三脚の上で体勢を立て直すため、左へ体重移動したところ、三脚を固定している足場部分がずれてしまい、バランスを崩し、腰から道路に落下し、緊急搬送され、骨盤骨折の手術を受けた。
4	傷害④	就業中	7月1日	広報掲示板点検作業	男	86	中部	広報掲示板点検作業中、具合が悪くなり救急車で病院に搬送された。40度の発熱があり、熱中症の診断を受け、その場で処置を受け帰宅した。
5	傷害⑤	就業中	7月12日	植木剪定作業	男	74	中部	金木厚の植木剪定作業を行っていたところ、ハチの巣があることに気付かず、スズメバチに手首を刺された。
6	傷害⑥	就業中	8月23日	カゴカート整理業務	男	72	北部	店舗内3階駐車場のカゴカート置場にカゴを回収する際、奥にあったカゴを取るうと手を伸ばしたところ、近くにあったカートの柄に胸を強くぶつけた。その後痛みが引かない為、病院を受診、肋骨骨折と診断された。
7	傷害⑦	就業中	9月12日	清掃作業	女	77	南部	就業中にトイレの便器に乗って上の棚にあるオムツを取ろうとした際、バランスを崩して転倒し、左足を強く捻挫してしまった。翌々日には左足膝あたりに違和感があったが過ごし、その後痛みが収まらなく17日に病院を受診。左足膝に溜まった水を抜く治療を行い、MRI検査の結果、膝の靭帯が切れている事が判明し、3か月治療に要すると診断された。
8	傷害⑧	就業中	9月16日	清掃作業	女	61	南部	就業中、階段を降りていた際に最後の一段を踏み外し、滑って転倒。その際、右足の小指と薬指の付け根の付近に痛みはあったもののそのまま仕事を続けたが、就業後に病院で検査したところ、右足の小指と薬指の付近に2ヶ所ひびが入っていることが判明した。
9	傷害⑨	途上	4月20日	清掃作業	女	81	南部	就業に向かう途中、バス停で乗車をする直前に段差につまずいて、転倒し右手を激しく道路に打った。その後、通常通り屋内清掃作業の仕事を終えて帰宅。翌日痛みがあるので、病院に行き、レントゲン検査と診察を受け、右手小指の骨折と診断された。
10	傷害⑩	途上	6月16日	運行管理補助	男	73	中部	就業後、バイクで帰宅中、道路にある凹みに気付かず単独で転倒し、病院を受診。左足膝の打撲傷と診断された。
11	傷害⑪	途上	8月3日	家事援助サービス	女	62	中部	就業後、バイクで帰宅途中、信号の無い通りに進入しようとした際に、右から来た車に接触しそうになり、急ブレーキをかけ、ハンドルを切ったため、転倒した。受診した病院で両膝打撲及び右手親指付根損傷と診断された。
12	傷害⑫	途上	8月5日	家事援助サービス	女	80	南部	就業後、発注者宅のマンションの玄関を出た時に、7～8cmの段差に気付かず足を踏み出し転倒。その際、右手を地面につき、右手親指付け根を捻挫してしまった。
13	賠償①	就業中	4月6日	清掃作業	女	76	南部	掃除機を使用してマンション共有部の清掃作業中、エレベーターを使用して7階に移動し、掃除機本体を持って降りたが、約12mある電源コードの一部をエレベーター内に残してしまい、その後エレベーターのドアが閉まり、降下したことで電源コードを巻き込み、切断させてしまった。
14	賠償②	就業中	5月19日	清掃作業	男	78	南部	就業先の敷地内にある自転車置場の雨どいのドレンに詰まった泥や枯葉を取る作業をしていた際、誤って近くにあった自転車に身体が接触したことで自転車のハンドルが雨どいにつぶれ、雨どいを破損した。
15	賠償③	就業中	7月7日	清掃作業	男	73	中部	マンションの清掃作業中、水拭きが完了したため、水拭き用のモップを玄関のガラス戸に立てかけていたところ、モップの柄がガラス戸の隙間に入ってしまったが、気が付かないまま作業を続け、乾拭き作業のためガラス戸を閉めたことにより、モップの柄と戸が接触し、ガラスが割れてしまった。
16	賠償④	就業中	9月8日	駐輪場管理	男	69	南部	自転車の整理をしている際に、ラックに入った電動自転車のロックを確認していたところ、駐輪機の前輪ロックと自転車の空気注入バルブ部分が接近していたことに気づかず、車体を前に押したために空気注入バルブが根元から破損してしまっ
17	賠償⑤	就業中	9月22日	除草作業	男	75	北部	発注者敷地内において、刈払機を使用した除草作業中に誤って刈払機のナイロンカッターの部分を雨どいに当て、破損させてしまった。

※傷害：南部6件 中部5件 北部1件 計12件 ※損害賠償：南部3件 中部1件 北部1件 計5件

【状況分析】 令和4年度の4月から9月までの傷害事故は前年同時期に比べ7件、賠償事故は3件の増加となりました。傷害事故を見ますと、バランスを崩したことによる事故が目立ちます。いずれもちょっとした注意や慎重に行動することで防ぐことができたと思われます。これからの寒い時期は筋肉や関節の弾力が失われ、体が動きにくいと感じることがありますので、準備運動をしっかり行うとともに今まで以上に慎重な行動をするよう心掛けてください。また、負傷してもすぐに病院に行かず、数日後に痛みが強くなり受診されるケースがありましたが、後遺症など重大な怪我となる可能性もありますので、無理をせず速やかに医療機関を受診してください。賠償事故については、作業に集中するあまり、周囲の確認が出来ていないことが原因の一つと考えられます。急がず、慌てずに、常に事故の可能性を意識した作業を心掛けてください。

（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会主催 令和4年度植木剪定講習会の開催

令和4年9月26日（月）～29日（木）
川崎市麻生水処理センターを会場として、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会主催による令和4年度植木剪定講習会が開催されました。

当講習会は、シルバー人材センターに会員登録されていない県内在住の60歳以上の方を対象として実施されたものです。

植木剪定に必要な知識や植木の手入れ、剪定の技術の基礎を習得し、植木剪定関連業務への就業を目指す14名の受講者が集まりました。

講習会場がとて広く、様々な樹木があり、中低木の剪定を中心に受講者の皆様は熱心に講師の方の話に耳を傾けて、楽しそうに剪定実習を行っている様子でした。受講者の皆様本当にお疲れ様でした。



「安全適正就業標語」最優秀表彰式

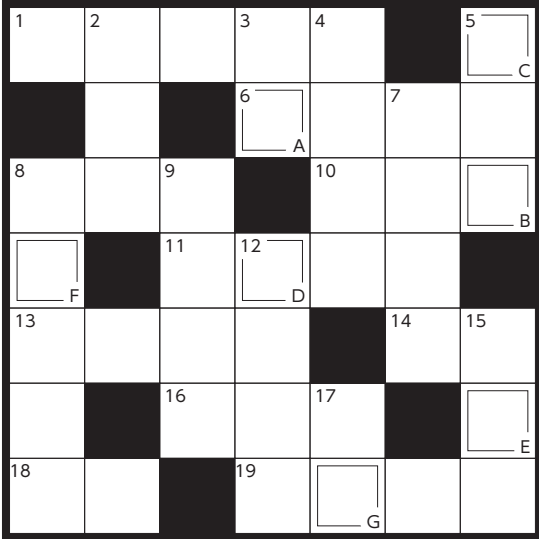
前号で紹介しました「安全就業標語」の最優秀賞に選ばれた、夏虫まさき江会員（南部事務所）をお迎えして、表彰状の授与及び記念品の贈呈を行いました。また、安全就業の呼びかけとして、安全就業標語の掲示をするなどの活動を行いました。



（右）夏虫会員
▲（左）山田事務局長



第2回 脳カトレーニング!! 「クロスワードパズル」



シルバーかわさき第87号で企画しました「クロスワードパズル」につきましては多数のご応募があり、抽選のうえ10名の会員さんへQUOカードをお送りさせていただきました。

好評につき、第2回を実施します。

タテのカギ、ヨコのカギのヒントを頼りにクロスワードを完成させ、マスA～Gを順番に並べてできるキーワードをハガキに明記のうえ、ご応募ください。正解者の中から抽選で10名様にQUOカード500円分をプレゼントいたします。

★タテのカギ

タテ2	お風呂から上がった後、体が冷えて寒く感じること。
タテ3	山と山との間。くぼんだところ。
タテ4	わずかな時間。「○○○○はどうなるかと思った。」
タテ5	周囲を山で囲まれた平地。
タテ7	英語で数をかぞえること。
タテ8	子が親に苦労や迷惑をかけること。またはそのような子。
タテ9	心の中に描く姿。「○○○○を膨らます。」
タテ12	つま先に引っかかるようにして履く手軽な履き物。サンダルの類。
タテ15	見習うべきもの。手本。
タテ17	地中に打ち込んで目印や支柱にする棒。

◇ヨコのカギ

ヨコ1	まるい物体。
ヨコ6	毎日刊行すること。
ヨコ8	悪い評判。不名誉。「○○○を返上する」
ヨコ10	主権者がその国土・国民を支配し、治めること。「○○○国家」
ヨコ11	熱・薬品などによって細菌を死滅させること。殺菌。
ヨコ13	英語で果物のこと。
ヨコ14	親しい仲間。「○○達の家遊びに行く」
ヨコ16	自分の立場や責任についてわかまえること。「○○○を持って行動する」
ヨコ18	競馬の主役。「○○の耳に念仏」
ヨコ19	突然筋肉がひきつること。「○○○○を起こす」

◎キーワード 秋から冬にかけては

A	B	C	D	E	F	G

ので注意してください。

【応募方法】

ハガキに ①会員番号 ②会員氏名
③住所 ④キーワード を記入のうえ、
下記までお送りください。

〒210-0026

川崎市川崎区堤根34-15

(公財)川崎市シルバー人材センター
会報編集委員会宛て

※応募締切

令和4年11月30日(水)まで(必着)

※ご応募は会員1名につき各号1回まで
といたします。

配分金支払日

10月分から12月分の配分金支払日は次のとおりです。

10月分	11月25日(金)
11月分	12月26日(月)
12月分	1月25日(水)

※配分金は、月末で締め、翌月25日(金融機関が休みの場合は翌営業日)に指定された口座に、お支払います。

新年号の表紙を飾る作品を募集します

令和5年1月発行の「シルバーかわさき第89号(新年号)」の表紙写真及び皆様からの投稿を掲載する「会員のひろば」に載せる作品(会員さんが撮られた写真や描かれた絵)を募集します。奮ってご応募ください。

●**応募方法** ①L判又は2L判に印刷した作品
②作品のタイトル(コメントがあれば100文字以内でお願いします。) ③氏名 ④住所
⑤電話番号 を添えてご郵送ください。

●**送付先** 〒210-0026
川崎市川崎区堤根34-15
(公財)川崎市
シルバー人材センター
会報編集委員会迄

●応募締切

令和4年12月9日(金)

※応募された作品は、事務局で選考のうえ、「表紙」または「会員のひろば」に掲載させていただきます。
※採用された方には、QUOカードを贈呈いたします。



令和3年1月号表紙作品



令和4年1月号表紙作品

事務所だより

★南部事務所

☎2222-1550

★家事援助・ 育児支援コーディネーター会議

令和4年7月19日(火)

本部及び各事務所の担当職員とコーディネーター3名で3年ぶりに合同会議を行いました。事務所から、業務の実績や最近の依頼内容について説明があり、最近の傾向としては、若い共働き家庭は、リモートワークが多くなり、以前に比べ鍵を預かる心配が少なくなったこと、また、発注者と会員の連絡手段もLINEやメールの利用が多くなるなど、会員さんが作業しやすい環境になりつつあるとの報告がありました。

コーディネーターからは、就業当初は清掃や調理のみの仕事でもその後、他の仕事も次々追加され、会員の負担が増している等の相談や、



コーディネーター会議の様子

最近では片付けができない発注者もいるため、発注者に具体的な片付け方を見せようというようにして、作業を進めるなどアドバイスを行いました。育児支援では、面談時にお子さんの状況がわかるので、安全が確保できない場合には不成立の場合もあるなどの報告がありました。

今後も人生経験豊富な会員の就業を通じて地域貢献できる家事援助・育児支援サービスの重要性が増々高まっていくと思われまますので、引き続きコーディネーターと協力をしながら、対応してまいります。

◎中部事務所

☎8222-5031

◎植木・除草・大作業説明会

令和4年8月19日(金)・29日(月)・30日(火)

中部事務所の会議室において、植木・除草・大作業を希望する会員に対し、それぞれ作業説明会を実施しました。

説明会は座学形式で行い、中部事務所の現状を説明し、その後、受注から作業完了までの流れ、作業単価、見積、就業報告書の提出方法等について説明を行いました。最終的に今回の希望者全員が実際に作業することが決定しました。

今後のご活躍を期待しております。



◆北部事務所

☎9800-0131

◆事務所安全・適正就業対策会議及び 巡回指導について

令和4年7月14日(木)

北部事務所会議室において、令和4年度第1回事務所安全・適正対策会議を実施しました。最初に事務所安全・適正就業委員及び対策員の自己紹介、次に令和4年度第1回安全・適正就業委員会の報告、その後熱中症予防について説明しました。

会議後、委員及び対策員と事務局職員で、今年度2回目の安全・適正就業巡回指導を実施しました。巡回指導の場所は、小田急線向ヶ丘遊園駅周辺です。就業会員は放置自転車等啓発業務に従事しており、当日は2名の会員が就業していました。最初に委員及び対策員が就業内容を確認し、作業内容に関するヒアリングを行いました。巡回した委員の報告書には「就業中は通行車両や歩行者にも気を配られているとのことなので、日頃の体調管理や熱中症対策も含め引き続き安全就業に努めていただきたい」と記載されていました。



会議の様子



巡回の様子

市内統一美化活動に 参加しました。

9月に実施された、川崎市内統一美化活動（北部事務所は麻生区美化キャンペーン）に各事務所から、会員及び事務所職員がボランティアとして参加しました。
ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。

★南部事務所

令和4年9月25日(日)

参加者 10名

前日まで影響が懸念されていた台風もすつかり遠ざかり、快晴の中、川崎駅前大通り商店街に沿って小土呂橋までの両側の歩道を歩きながら清掃しました。商店街なので、歩道や植え込みの中に、ビン、缶、ペットボトル、弁当空箱、たばこの吸い殻の他、台風の影響による折れたビニール傘など、予想外に多くのゴミが捨てられていました。これらを片付けることができ、多少でも地域に貢献できたと思える半日でした。



◎中部事務所

令和4年9月25日(日)

参加者 11名

美化活動の場所であるJR武蔵溝ノ口駅北口の「ペDESTリアンデッキ」周辺は、落ちていくゴミが少なく見えたが、路上や植え込みの中には煙草・ペットボトル・空き缶等が捨てられており、美化活動に参加された方々がそれを丁寧に拾い集めたことで綺麗になりました。センターで用意したベストを着用して活動したことで、センターへの認知度を高めるとともに、地域の環境美化に寄与することができました。



◆北部事務所

令和4年9月30日(金)

参加者 7名

当日は新百合ヶ丘駅周辺の企業など約20団体が参加し、団体ごとに予め指定されたエリアで活動を行いました。センターは地域班班長と職員の7名が駅の北口周辺でセンターの水色のベストを着用して活動し、道端に落ちている空き缶、煙草の吸い殻、紙ゴミなどを拾い雑草を除去するなど駅周辺の環境美化に努めました。



会報編集委員による取材

川崎バイオマス発電(株)で活躍
されている会員さんの紹介

川崎市営バス「扇町停留所」から徒歩3分のところにある「川崎バイオマス発電所」から依頼を受けて、屋内外の清掃、植木の水やり等の作業をされている会員さんを紹介いたします。

就業先の川崎バイオマス発電所は、石油・石炭等の化石燃料を使用せず、木質バイオマス燃料(周辺地域で発生する建設廃材から作られた木質チップ、剪定枝等)



を利用するバイオマス専焼発電設備で、カーボンニュートラルによる「CO₂フリー電気」(CO₂を排出せずに発電された電気のこと)を供給することで年間12万tのCO₂削減に貢献しています。

【早田会員の話】

就業内容は道路を含む構内の清掃・除草、緑地の水やり、発電所職員の作業着洗濯等があり、作業記録表に基づいて行っております。施設の見学



のためには、自分からあいさつするなど積極的に話しかけることを心掛けております。

【川崎バイオマス発電(株) 高橋様のお話】

発電所職員は3年程度の周期でローテーションしており、長年就業していただいている早田さんには、汚れている箇所の指摘をいただくほどで業務的な不満はありません。

特に注意事項として木質



者が多いので、見学場所も丁寧な掃除を心掛けております。

8年ほど前より就業しており、職員様を含めて最古参になりました。長く続けられた理由としては、現場の方々のコミュニケーションを大切にしており、そ

バイオマス燃料を使用することから、構内は、燃料を積んだトラックが1日に百台ほど通行するため、木屑がこぼれ落ちたり、粉碎した細かい微粉が構内に堆積すると、火災の原因になりますし、また本発電所は見学者が多いため、外観上の点からも清掃については頻繁に行っていたいております。

屋外での作業が多いため、特に夏場の熱中症対応には気を付けており、早田さんは一人作業となりますので、他の業務作業者と相互に確認が取れるよう配慮しております。

【取材を終えて】

「バイオマス発電」や「カーボンニュートラル」等、地球温暖化防止のための二酸化炭素排出削減に関することが最近身近な話題となっており私も今回の記事を作成するにあたり色々勉強させていただきました。今後も社会の流れに関心を持っていきたいと思います。

取材：会報編集委員 金子 一夫

【カーボンニュートラル】

樹木は、成長の過程において光合成により大気中の二酸化炭素(CO₂)を吸収して酸素を生産しながら、炭素(C)を体内に貯え、幹、枝といった樹体をつくっています。木質バイオマス燃料を燃焼させることでCO₂が排出されますが、このCO₂は元々大気中から樹木が吸収していた炭素が大気中に戻るだけですので、大気中のCO₂が増加するものではないという考え方です。